

**講座
21**

人間学再論—今あらためて人-間を考える

オンライン併用

【定員】96名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『歴史・文学・人間学』人間学 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)

概要

和辻哲郎は、人は「間」をもつことによって人間たりうると、人間を「間柄（あいだがら）存在」と規定した。その「間」は、人と人との間のみならず、人と人を超えたものとの間でもある。ここでは、そうした「人-間」存在の多様・多彩なありようをさまざまなジャンルから論じてもらいます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	間（あいだ・あわい）から考える	東京大学名誉教授 竹内 整一
2	4/20(木)		ドラマづくりの人-間学	NHKドラマプロデューサー（「半分、青い。」など） 勝田夏子
3	4/27(木)		歩きながら考える	朝日新聞「天声人語」元筆者 富永 格
4	5/11(木)		愉しみとしての死①	哲学者 内山 節
5	5/18(木)		愉しみとしての死②	
6	5/25(木)		世阿弥 最後の花	作家 藤沢 周
7	6/ 8(木)		資本主義と民主主義の間	社会学者 大澤 真幸
8	6/15(木)		音楽と時代の発明——その時々「心に響く音楽」の探究	ピアニスト 本田 聖嗣
9	6/22(木)		人間と動物とのたがい（違い・互い）の間	日本女子大学准教授 伊藤 由希子
10	7/6(木)		昭和から平成、音楽と時代	音楽評論家 田家 秀樹
11	7/13(木)		編集者人生で出会った著者は1万人	元岩波書店社長 山口 昭男
12	7/20(木)		「ありてなければ」の思想再考	東京大学名誉教授 竹内 整一